

第 62 回全国社会教育研究大会新潟大会に向けて

新型コロナウイルス感染症の脅威が私達を襲っています。東京オリンピック・パラリンピックを始め、様々なイベントが中止や延期に追い込まれるだけでなく、全国に緊急事態宣言が発令され、日々の生活も一変し先行きが見えない状況が続いています。このような混沌とした時代だからこそ「人々の心をつなぎ、はぐくみ、響きあわせる」社会教育が改めて求められるのではないのでしょうか。

新潟大会は11月11日～13日開催です。状況を鑑み、今年度は事前のチラシによる御案内はせず、開催要項での御案内のみとします。開催要項の発送は8月初旬を予定しています。

今後の状況を見極めながら安全・安心な大会運営を心がけ、密を避けられるように座席間隔を広げることや分科会の形式を見直すなど柔軟に進行形で検討をしております。そして、皆さんが参加しやすい環境を新潟県一丸となって一所懸命に整えたいと思います。全国の皆様には、例年通りに参加を検討いただければ幸いです

約半年後の11月開催となりますが、新型コロナウイルス感染症の脅威が終息へと向かい、社会教育に携わるもの達が一つにまとまり、令和3年、その先の未来へと少しでも明るい、前向きな気持ちで進み、終息後の日本を何らかの形で支えていけるような大会になればと思っています。

フェニックス（不死鳥）の地・新潟県長岡市で皆様にお目にかかれると信じ、大会準備を進めて参ります。

令和2年5月

第 62 回全国社会教育研究大会新潟大会実行委員会
委員長 山田 智之

令和 2 年度

第 62 回全国社会教育研究大会 新潟大会

第 51 回関東甲信越静社会教育研究大会

第 20 回新潟県社会教育研究大会 長岡大会

開催要項 (案)



1 大会スローガン

こめひやっぴょう

未来につなぐ「米百俵」

～フェニックスの地ではじまるこれからの社会教育～

2 研究主題

新しい社会教育をデザインする

～つなぎ はぐくみ 響きあう 生涯学習社会の実現～

3 開催趣旨

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、先行きが見えない状況が続いています。このような時こそ「人々の心をつなぎ、はぐくみ、響きあわせる」社会教育が極めて重要となります。

本大会の開催地である新潟県は、上杉謙信ゆかりの地である上越地域、川端康成の小説『雪国』の舞台ともなった中越地域、日本海沿岸の唯一の政令指定都市を有する県庁所在地の下越地域、朱鷺が舞い、佐渡金銀山で知られる佐渡地域の4地域からなっています。端から端までの距離は約330kmと長く、東京・名古屋間とほぼ同距離となります。そして、それぞれの地域で特色ある文化が育まれています。

本大会の会場となる長岡市は、古くは戊辰戦争の戦場として、焼け野原と化した時がありました。そのような困窮する城下に支藩から米が届きますが、長岡藩大参事・小林虎三郎は「百俵の米も、食べばたちまちなくなるが、教育にあてれば明日の一万、百万俵となる」と人々を諭し、今を耐え、未来を見据え学校建設のために使います。その精神は、後に「米百俵の精神」と謳われるようになり、今も人々の心に息づいています。目先のことだけにとらわれない心は、これからの社会教育にとっても大切な精神ではないでしょうか。

新潟県は、第二次世界大戦での空襲、新潟県中越地震、毎年のように降り積もる大雪など幾多もの困難に見舞われますが、フェニックス（不死鳥）のごとく立ち直ってきました。このような新潟の地で、社会教育関係者が一堂に会し、先行きが見えない困難な時代を乗り越える生涯学習社会について共に考え、5年後、10年後の未来へとつながる社会教育をデザインしていける大会にしていきたいと思えます。

フェニックスの地で皆様にお目にかかれることを祈っています。

4 期日

令和2年11月11日（水）～13日（金）

5 会場

シティホールプラザ「アオーレ長岡」（長岡市大手通1丁目4番地10）

長岡グランドホテル（長岡市東坂之上町1丁目2番地1）

6 参加者

都道府県・政令指定都市・市区町村の社会教育委員及び社会教育関係者
生涯学習・社会教育に関心のある方

7 主催

一般社団法人全国社会教育委員連合、関東甲信越静社会教育委員連絡協議会、
新潟県社会教育委員連絡協議会、新潟県教育委員会、長岡市教育委員会
第 62 回全国社会教育研究大会新潟大会実行委員会

8 参加費

一人 5,000円（参加資料代として）

9 大会日程

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00～20:00
第1日 11/11 (水)							全国社教連 理事会 15:00～16:30		全国社教連 事務局会議 17:00～18:00	
第2日 11/12 (木)		全国社教連総会 10:00～11:30 受付 10:30～12:00		歓迎セレ モニー 12:00～ 12:30	開会行事 (表彰式) 12:35～13:30	記念講演 13:45～14:50	シンポジウム 15:05～16:35	閉会行事		情報交換会
第3日 11/13 (金)	受付	分科会 9:30～12:00								

10 大会内容

11月12日(木) 受付 10:30～12:00

◎ 歓迎セレモニー 12:00～12:30

新潟県にゆかりのあるものを選定中

◎ 開会行事 12:35～13:30

開会挨拶、一般社団法人全国社会教育委員連合等表彰

◎ 記念講演 13:45～14:50

演題：「当たり前幸せが響きあう社会」

講師：女優・エッセイスト 星野知子氏

◎ シンポジウム 15:05～16:35

テーマ：新しい社会教育をデザインする

～つなぎ はぐくみ 響きあう 生涯学習社会の実現～

シンポジスト：鈴木 真理氏（（一社）全国社会教育委員連合会長）

真柄 正幸氏（新潟市食育・花育センター センター長

新潟市アグリパーク教育ファーム アドバイザー）

羽賀 友信氏（まちなかキャンパス長岡学長）

コーディネーター：山田 智之（新潟県社会教育委員連絡協議会会長、

上越教育大学教授）



11月13日(金) 受付9:00~9:30

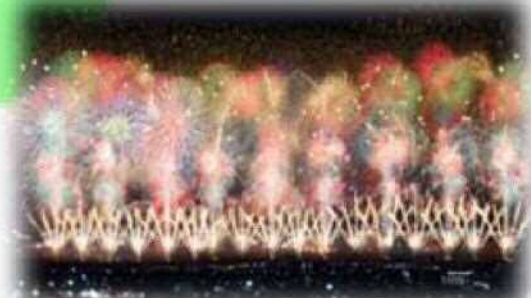
○ 分科会 9:30~12:00

	テーマ ～サブテーマ～	県内発表者・内容	他県発表者・内容	助言者(予定)
1	「学校との関わり」 ～学校を核にした社会教育による地域づくり～	新潟市社会教育委員 ・学校と地域の連携・協働 ～新潟市社会教育委員の取組事例～	青森県つがる市社会教育委員 ・学校を支える地域社会の在り方 ～つがる市社会教育委員の取組事例～	新潟大学 教職大学院 雲尾周准教授
2	「家庭との関わり」 ～地域のつながりによる家庭教育支援:親も地域の一員～	燕市社会教育委員・家庭教育支援チーム「サークルきらら」 ・燕市における家庭教育支援の取組事例	静岡県裾野市 東地区おやじの会代表 ・日常の関係づくり「何もしない合宿」の取組事例	新潟大学 教職大学院 中島伸子准教授
3	「地域との関わり」 ～地域の元気を引き出す社会教育～	糸魚川市西海地区公民館 ・西海地区公民館で行う地域づくり活動の取組事例	石川県川北町社会教育委員 ・かわきたの明日の子どもを育てる町民会議の取組事例	上越教育大学 辻村貴洋准教授
4	「社会教育施設等との関わり」 ～魅力ある地域づくりのプラットフォーム～	長岡市 「まちなかキャンパス長岡」 ・まちなかキャンパス長岡の事業紹介	長野県松本市地区公民館 ・公民館がパイプ役となり、住民主体の「まちづくり協議会」の取組事例	全国社会教育委員連合 馬場祐次朗 常務理事
5	「人と人とのつながり」 ～地域の人をつなぐ社会教育・社会活動～	村上市総合型地域スポーツクラブNPO法人「希楽々」 ・高齢者の社会参加プロジェクトと障がい者と健常者の共生への取組事例	高知県土佐市高知新聞高岡西販売所長 ・高齢者を中心とした購読者への福祉訪問や見守り活動及び地域支援活動	新潟リハビリテーション大学 松林義人准教授

- (1) 事例発表 1 30分 (事例紹介 20分・質問等 10分) 新潟県担当
- (2) 事例発表 2 30分 (事例紹介 20分・質問等 10分) 他都道府県担当
- (3) 休憩 10分
- (4) ワークショップ 40分
- (5) 全体共有 15分
- (6) 助言 15分



米百俵の群像



長岡花火フェニックス

